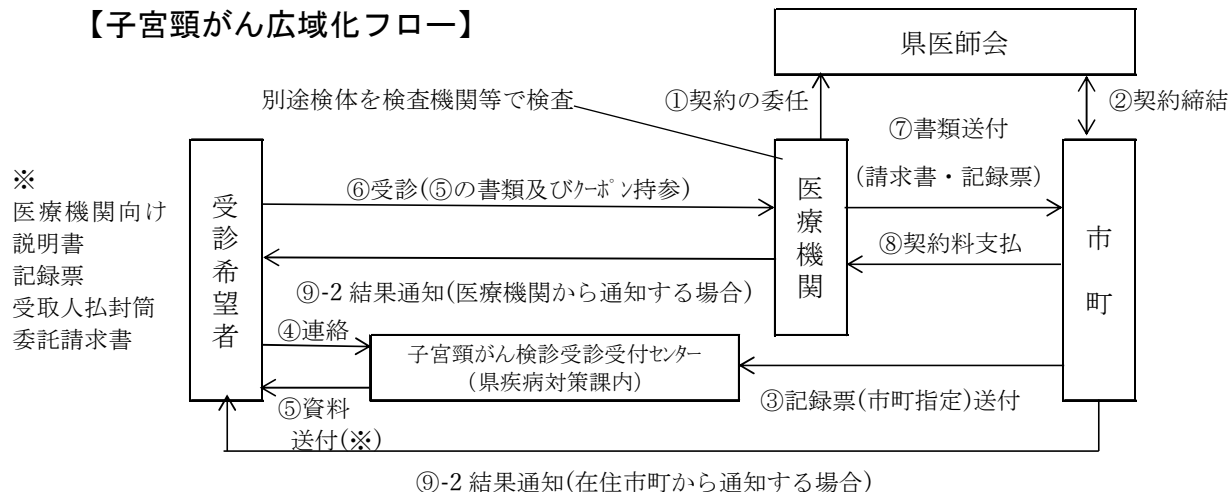


子宮がん検診の広域化について

1. 子宮がん検診の広域化の進捗状況

- 実施フローを県内市町及び医療機関に提示し参加を呼びかけ(R3～)。
- 新型コロナウイルス感染症等への対応により現時点で参加市町はなし。

【子宮頸がん広域化フロー】



【市町の手あげ状況】

状況	市町
検討中 (10 市町)	神戸市、芦屋市、西脇市、川西市、小野市、三田市、朝来市、淡路市、太子町、佐用町
不参加 (31 市町)	姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、加西市、養父市、丹波市、丹波篠山市、南あわじ市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、香美町、新温泉町

【参加意向の医療機関】

神戸	35 施設	東播磨	24 施設 (明石 14、加古川 7、高砂 3)	但馬	1 施設 (豊岡 1)
阪神南	45 施設 (尼崎 14、西宮 25、芦屋 6)	北播磨	12 施設 (西脇 4、三木 3、小野 2、その他 3)	丹波	1 施設 (丹波 1)
阪神北	23 施設 (宝塚 8、伊丹 8、川西 5、三田 2)	西播磨	10 施設 (たつの 2、赤穂 3、宍粟 2、その他 3)	淡路	3 施設 (淡路 1、洲本 2)

2. 参加検討市町の意見

- 新型コロナウイルスへの対応等で広域化の具体的検討ができていない。
- 市外医療機関に委託する場合の精密検査の受診有無及び結果の把握方法等、具体的な内容を自治体内で決めていく必要がある。
- プロセス指標のバラつきを抑えるため検体の検査機関を限定している。広域化により検査機関が増えることによる精度管理への影響を懸念している。
- 支払い医療機関の増加による事務負担の増大
- 広域化の対象が限定的（子宮がん検診の無料クーポン保持者）。需要がどれだけあるかの検討ができていない。